デマヤうわさに 流されない、 発信・広める側に ならないために

①情報が本当のことなのか、誰が発信したのかを

確かめよう

このような理由で、だいじょうぶと思ってしまう ことはないかな。

写真がついて いるから

友だちが 教えてくれた ことだから

いつも見ている ページに書いて あったから

自分の好きな 有名人が言って いたから

②「事実」「意見」を見分けよう

…本当にあったこと

…「きっと~だろう」と誰かが考えたこと

インターネットやSNS上には、事実と意見がまざった文をよく見かけます。気になる ニュースや書き込みを見つけた時、何が事実で何が意見かを意識して読み、正しい 判断をできるようにしよう。これは、自分が書き込む時も同じだね。

③あわてない

- SNS上に書きこんだり、のせたりする前に、それが誰かをきずつけることは ないか確かめる。
- 「すごいニュースだ」「すぐに教えてあげたい」と思っても、広めない。
- たとえ本当のことであっても、勝手に個人情報を他人に話さない。

自分のことを伝えるかどうかは自分で決めたいよね。だから、他人のことも勝手に広めちゃいけないんだ。

一度書きこんだり、のせたりしたことは、簡単には消えないよ。それに、その情報がデマだったことで、罪になることもあるんだ

インターネット だけでなく、 毎日の生活を ふりかえってみよう

①本当のなかまとは

「自分の伝えたいことや、気持ちが言える」「一緒に考えてくれる」 「気持ちに応えてくれる」そんな関係が本当のなかまではないかな。 ふだんの友だち関係を見つめなおしてみよう。

②安心してすごせるクラスに

インターネットの世界は、人とつながれる便利なものだけれど、クラスではどうだろう。

一人ひとりにとって安心できる場所になっているかな。「わたしはだいじょうぶ」ではなく、

つらい思いをしている友だちがいないかを考えてみよう。

③いじめや差別は自分の問題として考えよう



いじめや差別をしたこともないし、されたこともないと思っている人は、「首分には 関係ないや」と考えてしまうことがあります。しかし、それではいじめや差別は なくなりません。「いじめや差別をしない」はもちろん、「なくす」首分になっている かを考え、行動していくことも大切です。

四日市市教育委員会人権·同和教育課

友だちを大切にする インターネット(SNS)とのつき合い方





常磐中学校 3年生 生川 紗也さん

インターネットを使うと、どんなことができるのかな。



大谷台小学校 6年生 佐田富 健登さん

四日市市教育委員会

令和6年度

わからないことを調べたりメッセージのやり取りをしたり はなれた場所にいる人と話をすることもできるよ。 ゲームの通信などもインターネットを使っているよ。 最近は、AIという新しい技術により、自分の希望にあった 文章や画像、動画等を作れるようにもなってきているんだ。



インターネットってとっても便利なんだね。

そうだね。でも、使い方によっては、 人をきずつけてしまったりすることがあるんだよ。



へえ~、じゃあ、インターネットを 正しく使えるようにならないといけないね。

では、今からインターネットの世界を探検してみよう。







インターネットでできること

きいこと

すぐに連絡できる 学校以外でも友だちと話すことが できる

遠くに住んでいるおばあちゃんたちと ビデオで話したよ

同じしゅみの人を探すことができる

なやんでいることや困っている ことを話しやすい

S Sh Ot

簡単にたくさんの情報を 見つけることができる ずっと知りたかったことがわかった

聞いてくれて ありがとう

インターネットを正しく使えば、 使利なことがたくさんあるね。 いつでもどこでも

人との つながり

言いたいことが 言える

> すばやく かんたんに

人をきずつけたり、うその情報を 流したりすることがある



教えてあげたかった だけなのに

うそをついたり、きずつけたり、 おどしたりする人とつながってしまう ことがある





言ってしまったことが取り消せなかったり、 人をいやな気持ちにさせてしまったり

することがある



まちがった情報を信じてしまうことがある

楽しく使利に使いたいのに、いつの間にか 人をきずつけてしまうことがあるんだね。

諾し合ってみましょう

あなたは、インターネットやSNSを使って、 どんなことをしていますか。「使利だな」 「楽しいな」と思ったことを教えてください。



「SNS」とは?

いいである。話し合ってみましょう

きずつける側にも、きずつけられる側にもならないようにするには、 どうしたらいいかな。

